

白 袴 嘆

農業とは雑草との戦いである……と一昔前までは言われていたが、最近は優れた除草剤の出現で雑草防除も栽培体系の中に組み込まれ、農作業の一部を占めるだけとなっている。但しこれは、農業を業としてやっている人達のことであって、自分の家の庭ともなると話は違ってくる。わが家の庭はまさに猫の額であるが、若干の花木と芝がある。田と畑に囲まれた環境下にあるので、夏ともなると少し手入れを怠ると、忽ち雑多な草が生い繁ることになる。これらを退治するには、除草剤をタイミングよく散布すれば簡単に済むはずであるが、実際には薬剤を調達してなかったり、時期を逸したりで、結局は草取りに汗ダクになることになる。今年は例年の草取りに懲りたらしく、家内は農協推せんの薬剤を買ってきて散布したという。芝の所々に禿ができたが、雑草の生え具合はかなり少ないようである。また、新しい茎葉処理剤を散いて見て、更めてその威力に驚いている。先日、某国立研究所の所長さんであり雑草学の泰斗にお目にかかる機会があった。談はたまたま庭の雑草から家庭菜園のことに及び、先生のお宅では雑草取りは奥様の手でおやりになり、あれは大変だよと先生は鷹場に言っておられた。統計によると、水田10a当りの除草所要時間は、除草剤のない時代には50時間強であったものが最近では5時間位、つまり10分の1以下になっている。「猫の額」では手労働で何とかなっているものの、除草剤の効用をもっと自ら体得し、恩恵をあまねく拡めるべく、まずカイより始めるべしと反省することしきりである。

(財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事 早川 充)
日産化学工業株式会社取締役農材本部副部長

目 次 (第20巻第4号)

除草剤における薬害……………	2
＜農業研究センター 行本峰子＞	
は じ め に……………	2
1. 水田除草剤による稲の薬害……………	2
1) 土壌中での除草剤の移動による薬害……………	2
2) 高温による薬害……………	3
3) 低温による薬害……………	3
4) 変化物による薬害……………	3
5) 田面水からの蒸発による隣接作物への薬害……………	4
2. 畑作用除草剤による薬害……………	4
1) 作物の栽培条件と薬害……………	4
2) 土壌条件と薬害……………	4
3) 相互作用による薬害……………	4
3. 樹園地における薬害……………	5
4. 薬害回避対策……………	5
お わ り に……………	6

鹿児島県におけるかんしょ・秋そばの栽培と雑草防除……………	7
＜鹿児島農試大隅支場 露重美義＞	

世界の農耕地雑草とその調査研究(10) ——クマツヅラ科——……………	12
＜宇都宮大学 竹松哲夫・一前宣正＞	

昭和59～60年度牧野草地関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………	22
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	